



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



夏季スクールバスの評価と課題 ～改善に向けて～

事業評価は

問 熱中症対策として今年度スタートしたこの事業をどのように評価されているのか。

答 猛暑が続く中、実施できてよかったと思っています。テレビニュースに取り上げられるなど、全国的に注目された取組として評価をいただいています。

通学距離 3km 以上とした理由は

問 乗車対象児童を、学校から 3km 以上（小学校統廃合に伴う基準は 2km 以上にもかかわらず）とした理由は。

答 3km 以上での対象児童が 108 名に対し、2km 以上では 400 名以上となり、さらに 10 台程度のバスと運転手が必要となり、その確保が非常に厳しいため、この基準で運用することとしました。

課題の「応急措置」を

問 同一自治会内で乗れる児童と乗れない児童が生じ、それが「コミュニティの分断」を招いた。これは「地域の出血」である。止血の「応急措置」を提案したが、実行してもらえなかった。教育長の見解は。

答（教育長）いろいろ検討しましたが、いい案が浮かばず結果的に意に沿えない形となってしまう申し訳なく思っています。

来年度の方針は

問 今年度の課題を踏まえた来年度の夏季スクールバス運行方針は。

答（教育長）次年度以降については、バスと運転手の確保の課題もありますが、学校から 2km 以上の児童を対象にしたいと考えています。

学校統廃合に伴う運行方針は

問 泉統合小学校区では、令和 8 年度から 2km 以上はスクールバス通学となるが、下里統合小学校区は 2 年間、九会統合小学校区は 4 年間、夏季以外は遠距離でもスクールバス通学ができない。市内児童間の公平性を欠くのでは。

答（教育長）財政的な課題もありますが、教育委員会としては、市内全ての小学校については、令和 9 年度には 2km 以上の児童を対象にスクールバスを運行したいと考えています。

■その他の質問項目

・播磨看護専門学校の課題



高見 博道 議員
(令和新風加西)



統合小学校のワッシュイスクールと見守り隊について

問 現在、泉小学校にはワッシュイスクールはないが、ほかの小学校では、ワッシュイスクール協力員である地域の方が毎日のように学校に足を運び、子供たちの応援をしている。また、地域見守り隊という形で通学時の見守り活動をされている。これらの活動は統合後はどうなるのか。

答 見守り隊については、これまで徒歩通学での見守りをお願いしていましたが、これからスクールバスに移行するに当た

り、各乗降場所での安全な乗り降りができるよう、引き続き見守りをお願いしたいと考えています。9 月の区長会を通じて周知していく予定です。

ワッシュイスクールについては、現在、泉小学校では登録がありません。ほかの小学校では登録はありますが、旧の小学校区を超えたその地域のつながりや活動、今後の在り方も含めて、新たな仕組みを検討していく必要があると考えています。地域での学校の応援団的な組織を統合小学校において立ち上げていくようなことを、現在、校長とともに考えているところです。詳しいことが決まり次第、地域の方に説明させていただく予定です。

意見 今後スクールバスを運行する際には、先生方はバスに同乗される予定はないと聞いている。地域の方が一緒にバスに乗って登校され、しばらく学校で過ごされた後、ワッシュイスクールに来られた地元の方と一緒に帰るということは考えられないか。何か児童の手助けになってもらえるとありがたいと思っている。いろいろ問題はあと思うが、検討していただきたい。

■その他の質問項目

・加西統合中学校について
・加西インター産業団地について
・加西市の異常気象への対策について